

2014年6月

平成26年度新潟大学大学間交流協定校
交換留学プログラム第1期募集要項
漢陽大学 Hanyang University（韓国）

本募集要項は、本学の大学間交流協定校である、韓国・漢陽大学（Hanyang University、以下「漢陽大学」という。）への交換留学を希望する学生の募集について定めるものである。

漢陽大学への交換留学プログラムについては、毎年度2回の募集を行っており、本募集は第一回目にあたる。第二回目の募集は、今年度の10～11月頃に行われる予定である。

なお、漢陽大学及び韓国の事情により、以下の情報は、予告なく変更となる場合がある。

1. 交換留学の期間及び身分

- (1) 留学期間は、平成27年3月から、1学期間または2学期間とする。
- (2) 交換留学生の本学での在籍身分は「留学」であり、休学による派遣は認められない。漢陽大学においては、学位の取得を目的としない学生として取り扱われる。

2. 募集人数

2名

3. 応募資格

指導教員が応募者を推薦するに当たっては、本学の正規課程に在籍する学生で、以下(1)～(5)に定める条件を、全て満たした者とする。

- (1) 本学の正規学部生、及び正規大学院生（ただし、大学院生（現地の大学院へ留学する場合）、及び外国籍を有する学生については、条件が異なる場合があるため、応募前に必ず国際課へ問い合わせること）
- (2) 学業成績及び人格などに優れている者
- (3) 留学の目的及び計画が明確で、プログラムへの参加が、教育上有益と認められる者
- (4) 留学に必要な査証（ビザ）が確実に取得でき、指定された期間に渡航可能な者
- (5) プログラム終了後、本学に戻り学業を継続する者、または本学の学位を取得する者

4. 語学要件

現在のところ漢陽大学が定める語学要件はないが、学内選考の際には、韓国語の学習歴が考慮される。

5. 事前説明会

本交換留学プログラムの事前説明会を、下記の日程で行う。応募を検討する学生は、必ずいずれかの日程に参加すること。

○日時：平成26年6月16日（月）および6月17日（火） 11：55～12：45

○場所：五十嵐キャンパス 総合教育研究棟 D301会議室

※内容は、両日とも同様である。

6. 応募方法

本交換留学プログラムに応募する者は、事前説明会に必ず出席の上、以下（１）～（７）の書類を、提出期限までに国際課へ提出すること。なお、面接日時及び場所などについては、追って通知される。

<応募書類>

- （１） 大学間協定校交換留学プログラム共通申請書（様式１，和文）
…タイプ可，ただしフォーマットやページ数は変更しないこと。
- （２） 所属学部の指導教員推薦書（様式２，和文） ※注１
…タイプ可，ページ数指定なし。
- （３） 在学証明書（日英併記，１部）
- （４） 直近の成績証明書（和文・英文 各１部） ※注２
- （５） 交換留学志望理由書（様式自由，和文）
…タイプ可，１，０００字以内（Ａ４用紙使用のこと）
- （６） 韓国語能力試験（韓国語能力試験（TOPIK）・「ハングル」能力検定試験などの）証明書の写し（有する場合のみ）
- （７） 平成２６年度１学期のスケジュール（様式３（エクセル様式），メールで提出）
▶ 様式ダウンロード ※上記（１）（２）（７）：<http://www.niigata-u.ac.jp/intl/kaigai/koukan.html>
（※注１）指導教員を持たない場合は，学年担当教員からの推薦書を提出すること。
（※注２）現学部１年生については，提出不要とする。

<提出期限>

平成２６年６月２７日（金）１７：００ ※締切厳守

<提出宛先>

学務部国際課 海外留学担当

※上記（７）のみ，電子メールで提出すること。

▶ メール宛先：studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp

なお，郵送で提出する場合は，提出期限必着となるよう送付すること。

▶ 郵送宛先：〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐２の町 8050

新潟大学 学務部国際課

海外留学担当

7. 選考方法

選考は次の（１）及び（２）により行う。

（１）一次選考（書類審査）

（２）二次選考（面接審査）

評価は、学業成績、留学の目的及び志望理由、適応力、学習能力、計画性などにより、総合的に行われる。（100点満点中、学業成績を50点、その他の項目を50点の配点とする。）

なお、現学部1年生については、学内選抜の時点では成績証明書が発行されないため、面接審査の点数を2倍とし、選考結果を算出する。

8. 選考の順位

3に記載する応募資格を満たした者を採用するが、応募数が2に記載する募集人数を上回った場合は、選考結果の点数が高い者から順に合格とする。

9. 選考結果

選考結果は、面接試験終了後10日以内を目途に、国際課から所属部局長経由で通知する。結果については、次のように通知される。

（１）合格…学内選考の結果、漢陽大学への出願資格を満たすと判断された者を、合格と見なす。なお、合格者を本学の交換留学生として漢陽大学へ申請するが、最終的な入学の可否については、漢陽大学の判断に基づく。

（２）補欠合格…応募数が2に記載する募集人数を上回った場合は、合格者の次点の者を、補欠合格と見なす。補欠合格者は、合格者が辞退した場合など、欠員に応じて繰り上げ合格とする。なお、補欠合格の有効期限は、平成26年10月31日（金）とする。

10. 選考後の手続きについて

選考に合格した者は、国際課が別途指定する期限までに、漢陽大学への出願書類を提出しなければならない。出願後、漢陽大学からの最終的な入学許可を得た時点で、交換留学候補生と見なす。なお、最終的な入学の可否については、漢陽大学の判断に基づく。

留学手続きについては、国際課がサポートするが、各自の責任の下で行う。また、国際課が実施する渡航前オリエンテーション（複数回）には、必ず参加すること。

なお、大使館査証部（ビザセクション）のストライキや、その他予期せぬトラブルなどにより、漢陽大学が定める期間までに渡航できない場合がある。このようなやむを得ない事情により、留学を延期、または中止しなければならない場合の責任は、本学は一切負わない。

なお、留学手続きの方法やオリエンテーションの案内などについては、全て学務情報システムのメールアドレスへ通知される。

11. 単位の認定

（１）漢陽大学で取得した単位は、所属学部または研究科の定めるところにより、単位の認定を申請することができる。ただし、詳細については、必ず所属する学部などで各自確認すること。

（２）留学期間は、本学の卒業に必要な在学期間として算入できる。

12. 費用について

本交換留学プログラムによる派遣生は、以下の費用を負担しなければならない。

- (1) 本学の授業料（漢陽大学での授業料は、協定に基づき免除される）
- (2) 留学の準備にかかる費用（査証（ビザ）申請料など）
- (3) 漢陽大学と自宅間の交通費，韓国での交通費
- (4) 漢陽大学における宿舍費，食費，その他の生活費
- (5) 漢陽大学における履修科目の教材費など
- (6) 漢陽大学または韓国で加入が義務づけられている留学生保険料，及び個人が任意で加入する場合の海外旅行保険料
- (7) その他，留学に関わる費用

13. 奨学金について

本交換留学プログラムによる派遣生は、給付型奨学金として、①独立行政法人日本学生支援機構平成26年度海外留学支援制度（短期派遣）（双方向協定型）、又は②新潟大学国際交流基金「外国へ留学する学生への奨学事業」に申請することができる。希望者は、本応募とは別に申請する必要がある。

なお、貸与型奨学金制度（返還義務があるもの）については、日本学生支援機構の第二種奨学金（短期留学）がある。こちらについては、学生支援課奨学支援係（五十嵐キャンパス・総合教育研究棟1F ①窓口）TEL:025-262-7337) に問い合わせること。

14. 本プログラムについての問い合わせ先

新潟大学国際課（五十嵐キャンパス総合教育研究棟D棟3階）海外留学担当

メール：studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp / 電話：025-262-7631

韓国・漢陽大学
ファクトシート（別表）

本ファクトシートは、本学の大学間協定校である、韓国・漢陽大学（Hanyang University、以下「漢陽大学」という。）に関連する情報を取りまとめたものである。

なお、漢陽大学及び韓国の事情により、以下の情報は、予告なく変更となる場合がある。

※表内の費用は、「1 ウォン=0.1 円（2014年6月現在の換算レート）」にて計算。

A) 大学名 :	漢陽大学（英語名：Hanyang University）																							
B) ホームページ :	<ul style="list-style-type: none"> ◆ http://www.hanyang.ac.kr/english/（英語） ◆ http://www.hanyang.ac.kr/（韓国語） 																							
C) 授業暦 :	<ul style="list-style-type: none"> ◆ International Language Institute（漢陽大学の附属機関、以下「語学堂」という） <ul style="list-style-type: none"> - 春学期 2015年3月～2015年5月 - 夏学期 2015年6月～2015年8月 - 秋学期 2015年9月～2015年11月 - 冬学期 2015年12月～2016年2月 <ul style="list-style-type: none"> ➢ http://www.hyili.hanyang.ac.kr/Jindex.html ◆ 漢陽大学（通常履修科目） <ul style="list-style-type: none"> - 春学期 2015年3月～2015年6月 - 秋学期 2015年9月～2015年12月 <ul style="list-style-type: none"> ➢ http://www.hanyang.ac.kr/user/indexSub.action?codyMenuSeq=1234&siteId=hanyangeng&menuType=T&uld=6&sortChar=FCA&menuFrame=left&linkUrl=06_03_01.html&mainFrame=right 																							
D) 履修科目 :	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 語学堂（韓国語授業） <p>語学堂では、韓国語を集中的に学ぶ。授業は1学期あたり10週間実施され、希望により、午前クラス/午後クラス、または深化クラスを受講できる。修了すると、13単位が取得できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1) 午前クラス / 午後クラス</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">午前クラス / 午後クラス</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1時限</td> <td style="text-align: center;">09:00 - 09:50</td> <td style="text-align: center;">14:00 - 14:50</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: top; padding-left: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> - 主教材に従い聞く、話す、読む、書くの統合学習 - 主教材と関連した読解と理解 - 様々な分野の副教材を使って韓国文化の理解 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2時限</td> <td style="text-align: center;">10:00 - 10:50</td> <td style="text-align: center;">15:00 - 15:50</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3時限</td> <td style="text-align: center;">11:00 - 11:50</td> <td style="text-align: center;">16:00 - 16:50</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4時限</td> <td style="text-align: center;">12:00 - 12:50</td> <td style="text-align: center;">17:00 - 17:50</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>2) 深化クラス</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>曜日</th> <th>時間</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">月火水木金</td> <td style="text-align: center;">13:30 - 16:30</td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> - 大学、大学院、就職準備段階 - 高級語彙と文法、作文 - ネイティブレベルの韓国語習得 </td> </tr> </tbody> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 通常履修科目 <p>・希望により、交換留学生は通常履修科目（英語または韓国語による授業）を履修できる。但し、授業を履修する際は、語学力が受講要件となる場合がある。ま</p>	午前クラス / 午後クラス			授業内容	1時限	09:00 - 09:50	14:00 - 14:50	<ul style="list-style-type: none"> - 主教材に従い聞く、話す、読む、書くの統合学習 - 主教材と関連した読解と理解 - 様々な分野の副教材を使って韓国文化の理解 	2時限	10:00 - 10:50	15:00 - 15:50	3時限	11:00 - 11:50	16:00 - 16:50	4時限	12:00 - 12:50	17:00 - 17:50	曜日	時間	授業内容	月火水木金	13:30 - 16:30	<ul style="list-style-type: none"> - 大学、大学院、就職準備段階 - 高級語彙と文法、作文 - ネイティブレベルの韓国語習得
午前クラス / 午後クラス			授業内容																					
1時限	09:00 - 09:50	14:00 - 14:50	<ul style="list-style-type: none"> - 主教材に従い聞く、話す、読む、書くの統合学習 - 主教材と関連した読解と理解 - 様々な分野の副教材を使って韓国文化の理解 																					
2時限	10:00 - 10:50	15:00 - 15:50																						
3時限	11:00 - 11:50	16:00 - 16:50																						
4時限	12:00 - 12:50	17:00 - 17:50																						
曜日	時間	授業内容																						
月火水木金	13:30 - 16:30	<ul style="list-style-type: none"> - 大学、大学院、就職準備段階 - 高級語彙と文法、作文 - ネイティブレベルの韓国語習得 																						

	<p>た、希望により、夏季・冬季休業中に提供される通常科目についても履修できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交換留学生は、韓国語クラス（語学堂とは異なる）を履修できる。 <ul style="list-style-type: none"> - サバイバル韓国語（3単位）…基礎レベル。週2回、各2時間（計4時間）実施される。クラスは夜間（18時～20時）に行われるため、他授業と重なることはない。 - インテンシブ韓国語（13単位）…現地テストの結果により、クラス分け（全6レベル）される。週4日、各4時間（計16時間）実施。履修時間は、午前（9:00～13:00）または午後（14:00～18:00）のいずれかを選ぶことができる。
E) 学生寮：	<ul style="list-style-type: none"> ・交換留学生は、原則として学生寮に入寮する。（原則2人1部屋。トイレ・シャワーは共同。） ・学生寮は複数あり、建物や部屋のタイプが異なるが、必ずしも希望通りの寮に入寮できるとは限らない。 <p><寮費の目安（過去実績に基づく）></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1学期間：約103～130万ウォン（＝約103,000～130,000円） ○2学期間：約255～325万ウォン（＝約255,000～325,000円） <p>※寮や部屋のタイプによって料金は変動する。また、寮費に食費は含まれない。この他、光熱費（1月あたり約10万ウォン（＝約1万円））が発生する他、冬季・夏季休暇中に学生寮へ滞在する場合は、それぞれにつき、別途50万ウォン（＝約5万円）程度が必要となる。</p>
F) 査証（ビザ）：	<p>交換留学生は、渡航前までにD-2ビザを取得する必要がある。現在のところ手数料は無料だが、申請時にかかる交通費など、査証取得にかかる費用については、全て各自の負担となる。手続きについては、国際課より案内があった時点で、各自が責任を持って行う。</p>
G) 外国人登録：	<p>全ての外国人は、韓国へ入国後、90日以内に外国人登録申請を行わなければならない。現在のところ申請料は10,000ウォン（＝約1,000円）。詳細については、現地到着後に説明がある。</p>
H) 医療保険：	<p>全ての留学生は、予期せぬ怪我や病気に備え、韓国で発生した医療費を補償する保険（補償額1万米ドル以上）に、最低1つ以上加入することが義務付けられている。「漢陽大学が薦める医療保険」に加入することもできるが、補償額が十分でない場合に備え、本学では、日本の保険会社の保険に事前加入することを勧めている。なお、詳細については、渡航前に国際課から説明がある。</p> <p><保険料の目安（過去実績の基づく）></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1学期間：約14万ウォン（＝約14,000円） ○2学期間：約20万ウォン（＝約20,000円） <p>※「漢陽大学が薦める医療保険」に加入した場合</p>
I) 留学費用：	<p>授業料は新潟大学に納入するため、漢陽大学での授業料は免除される。その他の費用については、募集要項12に記載のとおり、全て各自で負担する。</p>

	<p><留学費用の目安（語学堂の学期に合わせた場合）></p> <p>○1学期間：約415万ウォン（＝約415,000円）</p> <p>○2学期間：約830万ウォン（＝約830,000円）</p>				
		1学期間		2学期間	
	項目	ウォン	日本円	ウォン	日本円
	○学生寮	₩1,030,000	¥130,000	₩2,820,000	¥282,000
	○光熱費	₩60,000	¥6,000	₩120,000	¥12,000
	○食費	₩2,400,000	¥240,000	₩4,800,000	¥480,000
	○医療保険料	₩140,000	¥14,000	₩200,000	¥20,000
	○韓国における交通費	₩240,000	¥24,000	₩480,000	¥48,000
	○雑費	₩270,000	¥27,000	₩540,000	¥54,000
	○外国人登録料	₩10,000	¥1,000	₩10,000	¥1,000
	合計（目安）	₩4,150,000	¥415,000	₩8,300,000	¥830,000
	<p>※金額は、最低限の目安である。為替レートの影響や、漢陽大学及び韓国の事情などにより変動する可能性があるため、応募前に必ず保護者と相談し、十分な資金計画を行うこと。なお、上記表の項目に含まれない事項（学期間の休暇中（セメスターブレイク）に寮へ滞在する場合の費用、査証取得にかかるその他の費用、漢陽大学と自宅間の交通費、漢陽大学における履修科目の教材費、有効な旅券（パスポート）を持たない場合の旅券申請費用、個人が任意で加入する海外旅行保険、個人の小遣い、その他留学に関わる費用など）は、別途必要となる。</p>				
J) 参考情報：	<p>◆留学体験談：http://www.niigata-u.ac.jp/intl/kaigai/taiken.html</p> <p>◆2013年派遣生からの情報（抜粋）：</p> <p>※情報は年々変わるため、あくまで参考とすること。</p> <p><学生寮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・寮は二人部屋です。ベッドと机、クローゼットがあります。また、机には3段の本棚がついていて、勉強用具を置くには不自由しないと思います。クーラーとヒーターもついています。また、部屋にはトイレ、シャワー室もついています。きれいだとは言えないので各階の公衆トイレ、シャワー室を使っています。 ・洗濯は各階の公衆洗面所に洗濯機3台、乾燥機1台があります。（洗濯機が一回約50円、乾燥機が一回約100円） ・水は寮の廊下に備え付けてある浄水器の水を飲んでください。 ・寮内にはインターネット環境があるパソコンが備えられていますが、寮の1階に3台しかなく日中は使っている人が多いです。寮内には無料Wi-fiがありますが、寮内共通のWi-fiの為か日中は繋がりにくいです。 ・寮は留学生寮ではないため、漢陽大生も住んでいます。掲示は韓国語と英語で張り出されます。 ・入寮の際部屋に枕と布団がついていないので、近くのショッピングセンターで買わなければなりません。 				

	<p><生活></p> <ul style="list-style-type: none">・食生活については、寮の食堂を利用すれば一食 3000 ウォン（約 300 円）で 3 食を済ませることができます。（しかし、味はイマイチだと思います。）また、学外のレストランで食べても基本的に 6000 ウォン（約 600 円）ぐらいで一食を済ませることができます。 <p><交通></p> <ul style="list-style-type: none">・歩いて 15 分のところに住十里駅（ワンシムニ）があり、そこまでいけばソウルを自由に行き来でき、交通の便はよいです。・公共交通機関の基本料金が非常に安く、バスであれば一定範囲の距離内で一律 850 ウォン（約 85 円）、地下鉄は 1050 ウォン（約 105 円）と、結構遠出をしても交通費はあまり変わりません。・タクシーも初乗り料金が 2700 ウォン（約 270 円）と日本に比べ非常に安いのですが、外国人だと分かると故意に遠回りをされる可能性があるということなので、初めは仲良くなった韓国人の友達と一緒に乗るのが無難かと思います。・交通環境は日本に比べ悪く車が優先であるかのような運転をするドライバーがほとんどです。（特にタクシーには要注意です。） <p><大学></p> <ul style="list-style-type: none">・語学堂生活で自分が一番問題に思ったことは、当たり前ですが語学堂に通う生徒に韓国人がいないということです。そこで自分は今、日韓交流会に通っています。韓国の友達も作ることができネイティブの韓国語を身近に聞くことができ少しずつ実力も上がり対話程度なら難なくできるようになりました。
--	--